

「選挙権を通して」

香椎高等学校 村井 ありさ

私は今年の6月に18歳となりました。18という年齢になり、どこか特別な気持ちと同時にこれからは今まで以上に何かと責任感をもって行動しないといけないなと思いました。その気持ちにはやはり選挙権が深く関係しているのではないかなと考えました。実際に選挙に行ってみて、よりそれを強く感じることができました。しかし、その一方やはり若者の投票率が低かったようにも思われます。私の地域でも若者の投票率は低かったです。選挙権が引き下げられた一番の理由として私は少子高齢化が関わっていると感じます。現在65歳以上の高齢者は総人口の約27%で2050年には約40%に増えるといわれているそうです。そう考えると現在の政治は、高齢者重視になりがちです。若者の声を政治に反映させるためにも今回、選挙権が引き下げられたわけですがここで大切なのは私たちつまり若者が自分の頭で政治について考えることだと思います。やはり、選挙に行きましようなどとよく言われはしますが、実際何をもとに考え投票したら良いのかよく分からないと言う人がたくさんいると私は思います。私自身も正直に話すと政治については本当によく知りませんでした。ですがテレビや新聞等を通して私はまず政治を知るところからはじめました。政治を少しでも知ることによって選挙に関する関心も集まると思うのです。少子高齢化の時代にある日本の未来を支えるのは私たち若者です。これからは私たちが中心となって日本をより良い国へと発展させる必要があるのです。私は日本のこれからを支える者としてこれからは積極的に政治に関わっていこうと思います。そしてもっと多くの若者が、政治に関心を持ち、選挙に参加する、そこから日本の未来を支えて行って欲しいと感じました。たった一人の一票だけでは変えられないかもしれませんが、しかし、同じ考えの人が増え、票も増えていけばそれは大きな力となります。その力が私たち若者にはあるのです。